

大牟田市立宮原中学校

1 本校のESDの特徴

本校は、学校教育目標「志を持ち自ら考え行動できる生徒の育成」を掲げ、グローバル人材の育成に努め、市教育委員会が作成した「大牟田版SDGs」をふまえて、学習を行っている。校区内の3つの小学校区には、「まちづくり協議会」「社会福祉協議会」があり、これらの活動を連絡・調整する地区公民館と共に、本校の教育活動をサポートしていただいている。校務分掌には、ESD推進部、ユネスコスクール担当、地域連携コーディネーターを位置づけ、地域の方々との連絡・調整を図っている。地域の「ひと」「もの」「こと」を教育課程と結び付けて、様々な「つながり」や「かかわり」を大切にしながら、学校教育目標の達成に向けた取組の充実を図るとともに持続可能な社会をつくる生徒の育成をめざしている。

また、学校教育目標の達成のために、社会に開かれた教育課程の理念をふまえ、教育課程に、ESD全体計画・年間指導計画、ESDカレンダーを位置づけ、全職員の共通理解のもと指導に取り組んだ。特に、「つながり」「かかわり」をキーワードとして、学校教育全体を通して、ESDの視点に立って、身につけさせたい資質・能力を明確にし、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた指導の工夫に努めている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

目標の具現化に向けた実践				地域・保護者の支援
	1年	2年	3年	
総合的な学習の時間	〈福祉学習〉 1. 大牟田市の福祉の現状把握および概観 2. 高齢者や認知症についての学習 (GTによる絵本教室・認知症学習など) 3. 特別支援学校訪問および交流活動 4. 様々な人々との関わりから学んだことの発表・発信 〈キャリア学習〉 1. 職業調べ 2. 職業インタビュー 〈世界遺産学習〉 1. 世界文化遺産宮原坑見学 2. 世界遺産を守る活動 (市役所・地域の方々と共に)	〈福祉学習〉 1. 高齢者とふれ合う老人保健施設等の訪問 2. 地域の方々と共に実施する認知症SOS訓練 3. 高齢者の方との関わりから学んだことを発表・発信 〈キャリア学習〉 1. 職業体験学習 2. 農作物を種から仕入れ、販売・加工する活動を通じた、流通や販売業などの体験 3. 働く上で大切な心構えや意義等についてまとめ発表 〈世界遺産学習〉 1. 国内の世界遺産に関する学習(価値・想い・参画・行動化) 2. 三池港110周年記念事業への参加	〈福祉学習〉 1. 思いやりの心と生命の尊さなどを考える乳幼児とのふれ合い保育体験活動 2. 乳幼児との関わりから学んだことを発表・発信 〈キャリア学習〉 1. 高校調べ 2. 進路実現に向けた学習(勉強の仕方、マナーについての学習) 3. セルフプレゼンテーション 〈世界遺産学習〉 1. 世界の世界遺産に関する学習(価値・想い・参画・行動化) 2. 世界遺産学習のまとめ	○地域の「ひと・もの・こと」の活用 「ひと」 ・GTとしての活用 ・人材バンクづくり ・生涯学習課等との連携 ・地区公民館との連携 「もの」 ・地域の職場の活用 ・公共施設の利用 (駄馬・勝立地区公民館、幼稚園、保育園等) ・世界遺産 「こと」 ・大牟田の伝統・文化(炭鉱・大蛇山等の祭)
				駄馬・天の原・玉川小学校の実践
	生徒会	〈国際理解〉・ユニクロ服のプロジェクトの取り組み 〈環境〉・地域清掃活動・ふれあいボランティアパスポート・ユネスコスクールと交流 ・海外との交流		

3 特徴的な活動の事例

校区にある世界遺産をとりあげた「世界遺産学習」、高い高齢化率を背景とした「福祉学習」等の学習を進めている。少子高齢化は、本市のみならず、国内各地域が抱えている課題であり、未来を生きる子どもたちにとって、不可避の課題であると考える。

①世界遺産学習

本校の校区には、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産があり、世界遺産学習に取り組んでいる。その際、大牟田市教育委員会が作成した「世界遺産学習中学校教材集」を活用している。昨年度は、修学旅行先で、大牟田の世界遺産を発信したり、奈良・京都の世界遺産をめぐる活動等を行った。

本年度、「花いっぱいプロジェクト」では、地域の方々とともに、花の苗植え、水やり等に取り組み、宮原坑周辺に、たくさんの花を咲かせることができた。また、11月に開催された「ヤマの祭典」に参加し、駿馬小学校、三池工業高等学校とともに、モルタル文鎮などを作成した。

②福祉学習

大牟田市は、共生社会の構築に向けた「認知症ケア」の先進地である。「誰もが安心して住めるまちづくり」を目指して様々な取組がなされ、システムが構築されており、全国からも視察者が訪れている。「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念にも合致しており、大牟田市版SDGsにおいても、重点的に取り組む項目となっている。

本年度は、「認知症SOSネットワーク模擬訓練」を実施した。地域の方々に認知症のお年寄り役になっていただき、校区内で、90人の生徒が一斉にお年寄りに声をかけたり捜索したりする取組を行った。その後のワークショップで、ふり返り活動をした。

また、カリキュラムマネジメントの観点からストーリーマップ、SDGsマトリックスを試作するとともに、3年間を見通して、福祉学習を体系化する試みを始めた。「宮原タイム」で培いたい「資質・能力」をベースとして、「認知症絵本教室」「認知症SOSネットワーク訓練」「独り暮らしのお年寄り宅訪問」「保育実習」の系統性を考えていきたい。



【認知症SOSネットワーク訓練】



【独り暮らしのお年寄り宅訪問】

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・地域の方々による、旧小学校校区を越えた宮原中学校へのサポート体制の構築のはじまり。

○課題

- ・「資質・能力」の育成をふまえた9ヶ年を見通して、小学校と連携した総合的な学習に関わる教育課程編成。



【ギネス記録に挑戦！】